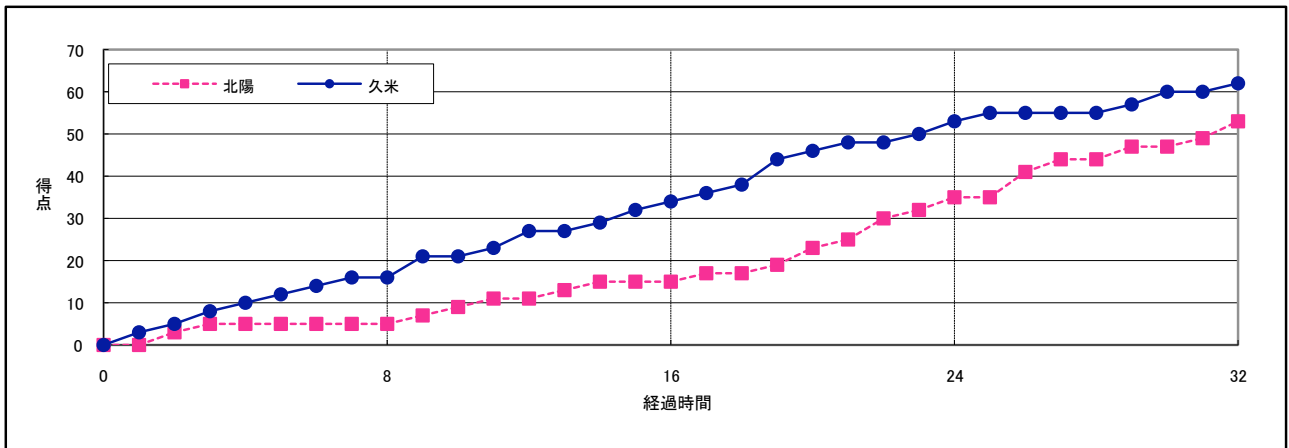


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 男子 Bコート第4試合 予選リーグF																			
日時	8月20日(木)		13:30 ~																	
会場	鹿児島アリーナ																			
結果	北陽 北海道	53 ●	<table border="0"> <tr><td>5</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	5	1st	16	10	2nd	18	20	3rd	19	18	4th	9		OT		久米 愛媛	62 ○
5	1st	16																		
10	2nd	18																		
20	3rd	19																		
18	4th	9																		
	OT																			
審判	主審 橋口 哲昭		副審 厚地 勝博																	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

No.	選手氏名	P1-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	上田 項己	×	8	2	1	0	2
5	大久保 尚人	×	12	0	6	0	3
6	中田 諒	×	3	0	1	1	1
7	佐藤 友弘	×	24	4	5	2	2
8	小原 佑貴	×	6	0	3	0	3
9	佐々木 雄平						
10	佐々木 恭平	/	0	0	0	0	0
11	渡辺 翔太						
12	氣屋村 公貴						
13	松坂 洸希	/	0	0	0	0	5
14	阿部 大河						
15	舂 森 悠						
16	佐藤 謙輔	/	0	0	0	0	0
17	大西 禄仁						
18	矢田部 大輝						
監	山田 秀剛						
C	秋川 直慶						
合計			53	6	16	3	16

空欄=出場なし

No.	選手氏名	P1-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	岸 貴耶	×	21	5	2	2	2
5	岡田 尚也	×	8	0	4	0	3
6	加藤 浩貴						
7	相原 麻人	×	9	1	3	0	1
8	那須 祐介	×	12	0	6	0	2
9	大石 航樹						
10	本田 兆						
11	佐々木 俊希						
12	岡田 玲侍						
13	野澤 隆太郎						
14	松永 佳祐						
15	葛原 大智	×	12	0	4	4	3
16	原岡 大地						
17	岸 佳弘						
18	新 将広						
監	堀内 弥生						
C	岸 京史						
合計			62	6	19	6	11

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、試合開始早々、久米#7の3Pシュートで先制。その後も久米はオフェンスリバウンドに果敢に飛び込む積極性を見せる。北陽は#7、#6のドライブなどでファウルを誘いフリースローで加点するが、久米#4の3Pシュート、#15のリバウンドシュートで一気に突き放し北陽5-16久米で終了する。
 第2P、北陽1-3-1ハーフコートゾーン、久米ハーフコートマンツーマンとディフェンスは変わらず。北陽#8のバスケットカウントや#7のドライブで加点するが、久米も#4を起点とする速いバス回しや、リバウンドシュートで北陽の追撃を許さない。開始3分北陽はタイムアウト後オールコートゾーンプレスで反撃を狙うが、ルーズボールやリバウンドを確実に制した久米がリードを広げて北陽15-34久米で前半を終了する。
 第3P、北陽は久米#4にフェイスガードをつけ相手の動きを止めようとするが、ファウルが続く、なかなか流れをつかめない。対する久米は#15のゴール下や#7のミドルシュートで得点を加えその差を広げる。残り4分、北陽はオールコートゾーンプレスからの速い攻撃や#7の連続得点で追いつけるが北陽35-53久米と依然、久米のリードで3Pを終えた。
 第4P、北陽の猛追は続く。北陽#7・#4の連続3Pシュートで一気に加点し、開始2分で北陽44-55久米とする。久米は#8のミドルシュートでその流れを切ろうとするが、すかさず北陽#4の3Pシュートが決まり、試合は膠着状態となる。残り2分、北陽は2-2-1のオールコートゾーンプレスで激しくプレッシャーをかけ勝機を見出そうとするがチームファウルが重なり、結局、北陽53-62久米でゲーム終了となった。